

# The View of the Tateyama Mountain Range from Amaharashi Coast, Fushiki, Takaoka City



雨晴海岸(高岡市伏木)～立山連峰を望む

**立山** 立山は日本の飛騨山脈(北アルプス)北部、立山連峰の主峰で、中部山岳国立公園を代表する山の一つである。雄山・大汝山・富士ノ折立の3つの峰の総称である。雄山のみを指して立山ということもあるが、厳密には立山連峰に立山と称する単独峰は存在しない。劔岳と並び、日本では数少ない、氷河の現存する山である。

「立山」は単なる地理的な名称ではなく、室堂や地獄谷、弥陀ヶ原、立山カルデラという立山一体を含んだ地理的な広がりや、立山信仰や遥拝登山など精神的な広がりを含んだ複合的な意味を持っている。雄山・浄土山・別山を「立山三山」と呼び、その周辺の山々と合わせて狭義の「立山連峰」ということがある。広義で「立山連峰」という場合は僧ヶ岳から黒部五郎岳の辺りまでを呼ぶこともある。古くは、三俣蓮華岳から猫又山に至るまでを立山七十二峰と呼んだという。これとは別に立山火山がある。室堂山、浄土山、国見岳辺りを最高地点としている。かつて山体は立山カルデラにあり、元の立山火山の山頂部は侵食で喪失している。弥陀ヶ原と五色ヶ原は、この火山の火砕流堆積物や溶岩の台地である。ミクリガ池、ミドリガ池は火口湖であり、現在の立山火山の主な火山活動は、地獄谷周辺の火山性ガスの噴出と温泉噴出である。

日本三名山、日本百名山、新日本百名山及びび花の百名山に選定され、富山県のシンボルの一つとされている。雄山の山頂には、雄山神社本宮がある。峰本社神殿右端の前には、測量の基準である大きな黒御影石の標石(標高点

3,003m)があり、その約70m南南西に一等三角点(標高2,991.5m、点名は立山)の標石が設置されている。立山について万葉集には「多知夜麻」と記された。日本を作り終えた神が天界に戻る際に踏み台代わりに足をかけて立った山だから「たちやま」という説もある。

**山岳信仰** 立山は古くから立山修験と呼ばれる山岳信仰の山として、日本三霊山の一つとされている。古代には立山権現として、平安時代からは地獄極楽のある山として阿弥陀信仰と結びついてきたという変遷が見られる。雄山神社の主神は伊弉諾尊(いざなぎのみこと)、本地仏は阿弥陀如来で、不動明王を本地とする手力雄命(たぢからのみこと)を副神とする神仏混淆がみられる。立山本峰の雄山に峰本社があり、山麓芦峯寺の中宮(祈願殿)、岩峯寺の麓大宮(前立社壇)とともに、三者一体の形を有する。峰本社を見上げる室堂平には参籠の場として建てられた室堂が復元されている。立山山麓には、芦峯寺、岩峯寺の2つの拠点寺院がある。大伴家持は「皇神(すまのみ)の領(り)はきいます新川のその立山に〜」(国神の領有される新川のその立山に)と立山の靈性を詠んだ。

**開山縁起** 鎌倉期から江戸期に成立した開山縁起によれば、701年(大宝元年)に越中国守、佐伯有若の1歳の息子である有頼が開山したとされている。有頼が居城の新川郡宇布施の院布施城近くの片貝川下流(黒部市犬山付近だという)で鷹狩をしているときに勝手に持ち出した父の白鷹が逃げてしまい、それを追って上市、芦峯寺と道を

たどり立山山麓に至ると熊が現れた。有頼が矢で熊を射ると、熊は血を流しながら逃げていった。血をたどって着いた室堂の岩屋(立山玉殿)で有頼が見たものは、矢を射立てられた阿弥陀如来であった。この出来事により、有頼は発心して立山寺(現在の雄山神社前立社壇)を建立し、後に慈興上人となったと伝えられている。縁起については時代によって変化があり、開山者は初期には現朝日町山崎の狩人、次に有若、最後に子の有頼となっていった。**信仰登山** 立山は山頂付近に地獄がある山としても知られていた。平安時代、地獄極楽思想が行き渡ったことから、日本中の死者は立山の地獄に落ちるとされた。立山を極楽、地獄谷を地獄、劔岳を針の山として見たて、神仏に参拝に行くのが本来の入山の目的で「立山登拝」と称した。そして、立山登山によって死後の世界を疑似体験することができて、極楽へ行けるとして、修験者以外でも登拝する人が多くなった。近世以降、立山曼荼羅と呼ばれる山中の地獄極楽図、巡礼図が盛んに作られ、それを使って岩峯寺や芦峯寺の「御師」(おし)と呼ばれる衆徒により越中国内及び全国に布教され、江戸城の中にも浸透し、全国で立山に信仰登山する人が増えた(立山権現)。山麓の岩峯寺及び芦峯寺は古来、巡礼者のための登山基地として繁栄し、かつては多くの宿坊が建ち並んでいた。麓で俗世の穢れや罪を祓う神事を受けた後で入山していたのである。また女人禁制のため登拝できない女性のために芦峯寺の布橋(ぬのはし)では、実際に白い布が橋に敷かれて布橋大灌頂法会が行われるなどしていた。